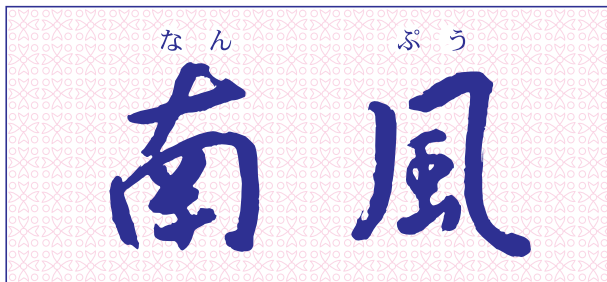


令和4年度
秋季号



発行
公益財団法人
沖縄県交通遺児育成会

〒900-0027
沖縄県那覇市山下町18番26号
山下市街地住宅2階B-211号室
電話 (098) 987-0743
FAX (098) 987-0744
<http://okiko-iku.com>



令和4年度給付選考委員会

選考委員会は教育、福祉、行政機関の11団体で構成されますが、今年度委員で開催しました。委員長は県中学校長会の仲盛康治会長(城北中学校校長)、副委員長は県小学校長会の宮國義人会長(銘苅小学校校長)が互選されました。ほかに、県高等学校長協会の上江洲隆副会長、県教育庁保健体育課の津波古要指導主事が参加し

沖縄県交通遺児育成会の「令和4年度交通遺児奨学金等給付選考委員会」が10月18日、沖縄県教職員共済会館八汐荘で開かれ、奨学・育成金給付申請者の51人が認定されました(昨年度比5人減)。給付額は483万4000円で、昨年度より52万4000円下回りました。入学・卒業時に贈られる激励金は中学生5人の計10万円で、昨年度比4人増(同8万円増)でした。事故から1年以内の申請者への見舞金は3人で9万円でした。

令和4年度給付選考委員会開催 51人の奨学・育成金を認定

令和四年度交通遺児奨学金等給付選考委員会が十月十八日に開催され、選考委員として出席させていただきました。今年度は新規認定者を含む五一人への奨学・育成金の給付が認定されております。

沖縄県交通遺児育成奨学金等給付事業は、該当する児童生徒等の健やかな学びを支援するため、返済不要の奨学制度となっております。その奨学制度を当該児童生徒等へ多く行き届けるためには、学校現場で勤める我々教職員が、奨学金制度を理解し、児童生徒等の状況把握や進級・進学時の引き継ぎ等を確実にを行うことよって、当該児童生徒等の学びの支援になると実感できた選考委員会でした。

減)、中学生11人(同2人増)、高校生20人(同1人減)、専門高校生6人(同3人減)、大学生5人(昨年同)の32世帯(同5世帯減)となります。

市町村の就学援助を受けている世帯については、本年度も激励金は給付しない条件付き採用とすることを確認しました。

奨学金等給付選考委員会に出席して

県教育庁保健体育課
指導主事 津波古 要

儀間教育振興会奨学生に10人採用

県外進学らの希望に

「いつか成功して、勉学に励む苦学生を支援し社会へ貢献したい」。自身も苦学生だったジーマ創業者の故・儀間常亀氏のこの強い思いから設立された儀間教育振興会（儀間幸子代表理事）。1993年の設立以来、多くの学生が同振興会の奨学金を受け勉学に励んできました。

当育成会からも毎年、10名の学生を受け入れていただいております、本年度も県外大学生8名、県内大学生2名が奨学生として採用されました。

県外進学者は当育成会の支援対象外となってしまうため、同振興会奨学金制度を利用し、継続して支援が受けられることは学生たちにとって大変ありがたく、希望となっています。

本年度までに当会推薦で採用いただいた学生は342人、総額7934万円もの奨学金が贈られてきました。

給付を受けた学生からも「学習環境の充実化を図ることができた」「資格取得や国家試験に集中できた」など、感謝の声が届いています。

なお、例年ジーマ本社で執り行われる奨学生証書授与式は、今年も開催が見合されました。

第2回理事会開催 — 副理事長に金城正樹氏を選定

構成団体・企業の人事異動に伴う副理事長選定の臨時理事会を、法令に従い8月16日に各理事に対し書面決議で行いました。

新副理事長に沖縄県高等学校長協会前会長・富里一公氏の後任として同協会会長・金城正樹氏が選定されました。

金城氏は県立首里高等学校の校長。教育現場の目線でご指導を仰ぎ、今後より一層の給付支援事業に努めて参ります。

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会

役員名簿

(令和4年8月30日現在)

評議員(10名)

- 親泊 一郎 株式会社琉球新報社元社長
- 野原 朝昌 沖縄県自動車販売協会会長
- 佐次田 朗 公益財団法人沖縄県トラック協会会長
- 小川 吾吉 一般社団法人沖縄県バス協会会長
- 東江 一成 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会会長
- 宮城 正明 公益財団法人沖縄県交通安全協会連合会専務理事
- 登野原 功 沖縄県軽自動車協会専務理事
- 下地 一彦 一般社団法人沖縄県指定自動車学校協会専務理事
- 與古田思好 一般社団法人沖縄県レンタカー協会専務理事
- 武元 清一 沖縄都市モノレール株式会社総務部長

理事(9名)

- 代表理事 森田 明 株式会社ラジオ沖縄取締役相談役
- 副理事長 金城 正樹 沖縄県高等学校長協会会長
- 理事 半嶺 満 沖縄県教育委員会教育長
- 普久原 均 株式会社琉球新報社社長
- 船越 龍二 沖縄テレビ放送株式会社社長
- 武富 和彦 株式会社沖縄タイムス社社長
- 中村 一彦 琉球放送株式会社社長
- 赤岩 勇二 日本放送協会沖縄放送局局長
- 長濱 弘真 株式会社エフエム沖縄社長

監事(2名)

- 屋我嗣寿男 公益財団法人沖縄県交通遺児育成会元事務局長
- 平良 喜一 公益財団法人沖縄県緑化推進委員会理事長

(敬称略、順不同)



写真展のテープカットを行う育成会の森田明理事長、医師会の友利博朗会長、交通遺児代表の石嶺中学校3年山城駈河さん(写真左から)



ラジオカーに出演の外間英之医師(写真右)



会場の様子

交通遺児育成基金造成「第22回那覇市医師会チャリティー写真展」(8月16日〜同21日)が、パレットくもじ6階那覇市民ギャラリーで開催されました。

これまで県医師会で取り組まれてきたものを、平成13年に那覇市医師会が引き継ぎ今回で22年目を迎えます。

オープニングテープカットで那覇市医師会の友利博朗会長は「真面目、硬い、頑固といったイメージのある医師を、この写真展を通じて身近

に感じてもらえたら嬉しい。少ないシャッターチャンスの中ではありませんが、どの作品もプロ顔負けの写真ばかりです」とあいさつ。

育成会の森田明理事長は「撮影者の思いが込められた作品が、子どもたちの学業支援へとつながるこの写真展を、長く継続いただいていることに御礼申し上げます」と述べました。

また、写真展二日目にはラジオ沖縄の番組内でラジオカーの中継も入り、担当理事

の外間英之医師が出演、多くの来場を呼び掛けました。会場には、出張先の県外や国外で撮影した風景や、動物や子どもたちのほっこりとした写真など96点が展示。作品は1点2千円で販売され、会場に設置したボックス募金とあわせて当育成会へ寄付されます。

同写真展からこれまでに寄せられた浄財は、総額624万1985円にもなります。(7ページ関連)

**医師会会員や家族、職員の力作96点を展示
第22回那覇市医師会チャリティー写真展開催**



17のたね TV放映 森田理事長が取材を受けました!

SDGs宣言に関連した活動や取り組みを紹介する琉球朝日放送の番組「17のたね」に、8月9日、交通遺児育成会が紹介されました。

育成会事務局で7月20日に取材・撮影が行われ、森田明理事長は育成会が行う普段の業務や活動の様子、交通遺児への支援状況を説明。

また、子どもたちを応援したいとご寄付をよせてくださる皆様へ改めて感謝を伝えるとともに、交通事故によって子どもたちが犠牲になることを避け、逆境に負けず学業に励み、夢を叶えるその日まで支援を続けていきたい、と話しました。

当会はSDGs17の目標のうち「1 貧困をなくそう」、「4 質の高い教育をみんなに」、「10 人や国の不平等をなくそう」の3つを検討しています。

見逃した方は、琉球朝日放送のHPからアクセスできます。
<https://www.qab.co.jp/movie/episode/seeds62>



(取材中の森田理事長=写真左)



保護者手紙



◆◆ 親子共々成長できました ◆◆



いつも大変お世話になっております。

下の子も今年で高校3年生になり、新たな人生の分岐点に差し掛かっています。

これまで沢山のご支援をいただき、ここまで頑張ってもらえたこと、心より感謝いたします。

大変なご時世の中、みなさまのご協力で親子共々成長できたと思っております。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

(読谷村・Hさん)

◆◆ 応援して下さる方々に一年分の成長を伝えたくくなります ◆◆

いつも温かいご支援ありがとうございます。

早いもので長男はもう6年生になり、中学受験挑戦のため3月から通塾しております。塾の日は夕飯を持ち、遅くまで疲れなかつとも心配なのですが、新しい学びが本当に楽しいようで毎日興奮状態で帰ってきます。この父親譲りの学習意欲にはいつも驚かされています。

学校では、児童会や合唱団の団長にも手を挙げ、忙しく充実した毎日を過ごしています。妹も兄と同じ合唱団に入団し、夏休みも毎日練習を頑張っています。コロナ禍で軒並み中止や、録音審査だったコンクールも今年度から開催され、2大県大会で見事金賞を受賞しました。兄妹での出場、親の私は嬉しい悲鳴が止まりません。兄妹でパートが違うため、家でもよく二人でハモる様子はとても微笑ましいです。旧盆も明けましたね。子どもたちの大きな成長に主人も安心して喜んでいるだろうと思います。

お礼が遅くなってしまいましたが、東南植物楽園のイルミネーションチケットありがとうございます。兄妹揃ってポケモンが大好きなので大喜びでした。久々に親子でゆっくりお出掛けができました。楽しい時間と思い出をありがとうございました。

また、スポーツ観戦の招待もいつもありがとうございます。時間の都合上難しいのですが、また機会がありましたら、今度はぜひキングス戦に連れて行ってみたいです。

今年も長々となってしまいましたが、子どもたちを応援して下さる方々がいらっしゃると思うと、つつい一年分の成長を伝えたくなくなってしまいます。

今年度も元気に、良い報告ができるよう頑張ってお参ります。引き続きお世話になります。応援、宜しくお願い致します。

(那覇市・Hさん)

ボックスデビュー

南城市 津波古自治会

～支援の輪が繋がりますように～

津波古公民館（宮城雄一会長）が8月1日から募金箱を設置しました。「さっそく区民の皆様から温かい志が集まっています。公民館事業も寄付や寄贈の支援を多くいただきありがたいと思うこともあり、支援の重要性を感じています。聞くところによると自治会では募金箱を設置しているところがまだ少ないと聞いているので、今回が良き先例になれば幸いです」と話しました。



津波古公民館職員のみなさん

沖縄県薬剤師会

～会営薬局とともに協力～

県民の健康と薬の啓蒙活動を手掛ける一般社団法人沖縄県薬剤師会（前濱朋子会長）が交通遺児育成会の寄付協力のため9月に募金ボックスを設置しました。

薬局を訪れる患者さんから、「募金ボックスは置いていないの」と有無を尋ねられたことがきっかけとなり、今回、薬剤師会事務局、会営薬局医療センター前（南風原町）、会営薬局うえはら（西原町）会営薬局とよみ（豊見城市）の4か所に設置されました。



沖縄県薬剤師会の事務局受付に設置したスタッフのみなさん

事務局インフォメーション

ロゴマークアイデア募集！！

沖縄県交通遺児育成会ではこれまでオリジナルのロゴマークがありませんでした。そこで、次号、南風が100号を迎えるにあたり、読者のみなさまからロゴマークのアイデアを募集したいと思います。

「デザインには自信がある！」「育成会のイメージを思いついた！！」など、お気軽にご応募ください。

★応募締め切り：令和4年12月12日（月）まで

海外留学希望者へ留学資金を支援します

こどもたちに国際的な視野を広げてもらうため、海外留学を支援します。

対象は当育成会で給付を受けている生徒、学生です。 留学先、留学制度はみなさんの自由！！最大50万円を支援します。留学を考えている中学生、高校生、大学生のみなさん、このチャンスをお見逃しなく！！

設立50周年記念誌、差し上げます

2021年7月、当育成会設立50周年を迎えるにあたり、記念誌「結のところに支えられ」を発行しました。

関係団体等にはすでに送付いたしましたが、ご希望の方には記念誌を差し上げております。当育成会へ関心をお寄せいただけましたら嬉しいです。（数に限りがありますので、お早めにお問い合わせ下さい）

インフォメーションに関する問い合わせ先

（公財）沖縄県交通遺児育成会

TEL：(098) 987-0743 / FAX：(098) 987-0744 Mail: okinawaken.koutuijie@swan.ocn.ne.jp



～皆さまの善意に感謝します～

「交通遺児の育成にお役立て下さい」と県民の皆さまから贈られる温かい寄付金は、子どもたちの教育・学業の支援金として大きな支えとなっております。個人・団体寄付、職場募金や学校募金、ボックス募金などご支援いただいた皆さまに感謝いたします。

初寄付

設立記念寄付で50万円
沖縄ビル・メンテナンス

沖縄ビル・メンテナンス（幸地均社長 写真中央）は10月4日、設立50周年を記念して50万円を寄付した。大嶺隆総務部長（同右）とラジオ沖縄を訪れた幸地社長は「社会全体で応援している。頑張ってほしい」のメールとともに、森田明育成会理事長へ寄付金を託した。



交通遺児等を寄付で応援しませんか？



継続団体

SDGs宣言で子どもたちを支援
青い海が10万円

シママース本舗青い海（又吉元栄社長）は7月1日、育成会事務局を訪れ10万円を寄付した。屋嘉比元常務（写真中央）と神蔵岳紘経営企画部長（同左）は「交通遺児の気持ちは計り知れないものがある。子どもたちのために少しでも役立ててほしい」と話した。同社はSDGs宣言を掲げ、環境問題や子ども食堂など幅広く支援を行っている。



社会貢献活動として
三和金属が10万円

三和金属（貝志堅義社長）は9月1日、社会貢献活動の

社員寄付をこれからも継続したい
大同火災海上保険が8万円余

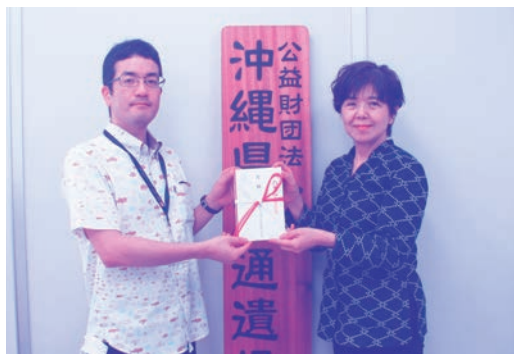
大同火災海上保険（与儀達樹社長）は7月7日、社員募金として寄せられた8万1300円を寄付した。育成会事務局を訪れた新城光悦経営企画課長（写真左）は、「車に携わる仕事をする者として、これからも社員寄付を継続し子どもたちを支援したい」と話した。

少しでも役に立ちたい
沖縄ホンダ労組が4万円

沖縄ホンダ労働組合は7月29日、4万円を寄付した。那覇市上間のホンダカーズ沖縄一日橋店での贈呈式で前門秀弥委員長（写真左）は「事故に遭われた家庭の子どもたちに少しでも役に立ちたい」と寄付金を託した。



一環として10万円を寄付した。長年、社会福祉活動に尽力しており複数の団体へ寄付を継続している。



「タクシーの日」(8月5日)にちなみ30万円
県ハイヤー・タクシー協会

県ハイヤー・タクシー協会(東江一成会長)写真中央)は、8月2日に30万円を寄付した。寄付金は8月5日の「タクシーの日」にちなんで協会会員からよせられたもの。金城哲副会長(同右)らとともにラジオ沖縄を訪れた東江会長は「交通機関にかかわる仕事上、子どもたちの手助けとして支援を続けていきたい」と話した。

子どもたちの育成に
JAグループ沖縄が74万円

JAグループ沖縄は8月19日、交通事故対策基金やグループ職員からの寄付金74万3131円を贈った。ラジオ沖縄を訪れたJAおきなわ経営管理委員会の嘉数康雄会長(写真左から2人目)は「子どもたちの学業、健全育成に使ってほしい」と寄付金を託した。



創立50周年を記念して
軽自動車協会が100万円

県軽自動車協会は7月5日、創立50周年の記念寄付として100万円を寄付した。那覇市内のホテルで行われた贈呈式で加藤憲志会長(写真)前列左から4人目)は「創立以来、会員や関係諸団体等に支えられてきた感謝の思いも込めて」と、森田明育成会理事長へ寄付金を託した。



お役に立てると10万円
山城千秋医師が寄付

山城整形外科眼科医院の山城千秋院長が8月9日、10万円を寄付した。那覇市樋川の同院で行われた贈呈式で山城院長は「なかなか落ち着かない日常だが、頑張る子どもたちのお役に立てれば嬉しい」と話した。

支援は継続していきたい
那覇市医師会が36万円

那覇市医師会の友利博朗会長(写真右)は、36万8736円を寄付した。寄付金は、8月16日から6日間開催されたチャリティー写真展の売り上げや募金、個人から寄せられたもの。9月13日にラジオ沖縄を訪れた友利会長は「これからも継続して写真展を開催し、子どもたちを支援していきたい」と話した。



子どもたちを
応援していただき

感謝します

寄付協力者ご芳名

令和4(2022)年6月1日～令和4(2022)年9月30日

育成会では、募金ボックスを設置いただける協力事業所を募集しています。

団体寄附	
6月	全沖縄おかあさんコーラス連盟 75,172 (有)海邦生コン工業 200,000 (株)青い海 100,000 沖縄県軽自動車協会 1,000,000 極真会館沖縄県支部 30,000 大同火災海上保険(株) 81,300 沖縄ホンダ労働組合 40,000 大原医院 30,000 東洋コンクリート(株)共済会 10,000 匿名 30,000
8月	(一社)沖縄県ハイヤー・タクシー協会 300,000 沖縄セルラー電話(株) 200,000 全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 200,000 JA グループ沖縄 493,131 三和金属(株) 100,000
9月	(一社)那覇市医師会 116,000 (株)兼生 100,000 沖縄ビル・メンテナンス(株) 500,000

個人寄附	
6月	具志堅興也 5,000 マエダマサヒロ 3,000 山城秀廣 3,000 仲本博政 2,000 地球を救いたい 3,000 宇保直人 3,000 赤嶺隼人 2,000
7月	マエダマサヒロ 3,000 安慶名一郎 26,770 宇保直人 3,000 匿名 20,000 多和田春子 5,000 地球を救いたい 3,000 匿名 5,000 匿名 5,000 匿名 30,000 赤嶺隼人 1,000
8月	新城亮太 500 山城千秋 100,000 マエダユカリ 13,665 匿名 200,000 宇保直人 3,000 匿名 20,000 地球を救いたい 3,000 赤嶺隼人 2,000
9月	守屋門 2,000 金城勇徳 10,000 宮城淳 10,000 宮里尚義 10,000 真志取浩貴 50,000 友利博朗 10,000 糸数功 30,000 中井優治朗 3,000

宇保直人 3,000	(株)リウエン 20,000
マエダマサヒロ 3,000	(有)たくし塗装店 30,000
赤嶺隼人 1,000	(一社)沖縄県指定自動車学校協会 20,000

ボックス募金	
6月	石川眼科医院 57,341 A&W沖縄(株)牧港店 10,371 金秀商事(株)サンプラザ県庁売店 9,439 (株)沖縄銀行安慶名支店 8,671
7月	エッカ石油(株)マチナートガススタンド 4,467 (株)メイクマンニューマン店 16,248 にんにく居食屋ありんくりん 69,894 (株)次郎工業 15,492
8月	(公財)沖縄県交通安全協会連合会 中部講習所 30,890 和食処ばん傘 9,269 守礼タクシー(資) 6,089 トーマ産業(株) 86,241 A&W沖縄(株) 11,394 A&W沖縄(株)名護店 31,896 (株)琉球銀行嘉手納支店 15,424 大浜第一病院 28,812 与那原地区交通安全協会 17,407 (株)大洋土木コンサルタント 10,249 与那原中央病院 9,276 (株)琉球銀行本部支店 15,295 (株)あんしん 15,708
9月	(株)沖縄銀行読谷支店 1,133 (株)沖縄銀行鳥堀支店 7,687 (株)沖縄銀行古波蔵支店 7,072 (株)沖縄銀行コザ支店 6,052 (株)沖縄銀行与那原支店 4,161 (株)沖縄銀行石川支店 11,768 (株)メイクマン美浜店 33,442 (株)琉球銀行屋敷名支店 9,279 (一社)那覇市医師会 30,736 (株)琉球銀行真嘉比支店 20,739 宜野湾整形外科医院 8,218 (医)八重洲クリニック 6,110 (株)琉球銀行那覇新都心支店 7,076 豊見城地区交通安全協会 15,440 安里眼科おもろまち駅前 63,386 ジェフ沖縄(株)与那原店 32,416

学校寄附	
8月	沖縄市立安慶田小学校 10,000 本部町立伊豆味小中学校 9,407
9月	沖縄キリスト教学院大学 8,262 県立芸術大学 9,300 県立看護大学 12,000

賛助員寄附	
6月	(株)技建 100,000
7月	(資)南風原石油 20,000 (株)山城石油 10,000 (株)古波蔵組 10,000

20,000	(株)大晋建設(株) 10,000
20,000	(公財)沖縄県交通安全協会連合会 20,000
10,000	金城電気工事(株) 10,000
10,000	南光開発(株) 10,000
30,000	琉球警備保障(株) 30,000
10,000	(一社)沖縄県建設業協会 10,000
30,000	沖縄ツーリスト(株) 30,000
20,000	(一財)湧川財団 20,000
20,000	(株)東海産業 20,000
10,000	(株)朝日建設コンサルタント 10,000
10,000	(株)大貫組 10,000
20,000	琉球セメント(株) 20,000
20,000	(株)沖縄ゼネラルサービス 20,000
10,000	(株)リウコム 10,000
20,000	沖縄製粉(株) 20,000
20,000	平良光明 20,000
20,000	サンエー運輸(株) 20,000
10,000	琉球ミート(株) 10,000
10,000	東洋コンクリート(株) 10,000
10,000	(株)拓琉金属 10,000
10,000	田場工機(有) 10,000
10,000	(有)上宏工業 10,000
10,000	8月 (医)彩の会やびく産婦人科・小児科 10,000
10,000	(株)祖慶電設工業 10,000
10,000	文進印刷(株) 10,000
10,000	(株)國興建設 10,000
10,000	第一総業(株) 10,000
10,000	(株)琉球新報發送 10,000
20,000	りゅうぎん保証(株) 20,000
20,000	(株)国建 20,000
30,000	琉球ダイハツ販売(株) 30,000
20,000	沖縄コカ・コーラボトリング(株) 20,000
5,000	長嶺電機(株) 5,000
5,000	(有)ひが重機リース 5,000
20,000	(株)紗利真 20,000
20,000	沖縄ガス(株) 20,000
20,000	那覇空港ビルディング(株) 20,000
9,670	(株)照正組 9,670
100,000	沖縄トヨタ自動車(株) 100,000
50,000	オリオンビール(株) 50,000
20,000	(株)琉球通運航空 20,000
20,000	北大東製糖(株) 20,000
10,000	生活協同組合コープおきなわ 10,000
20,000	協栄海事土木(株) 20,000
10,000	(株)オカノ 10,000
20,000	9月 (株)沖縄特電 20,000
20,000	花城和子 20,000
20,000	那覇鋼材(株) 20,000

受贈品寄附	
9月	専心池坊琉球支部/いけ花展「花の輪」 ご招待券20枚

※敬称略

★寄附金・賛助会費等の振込口座(随時受付中)★

☆振込み方法：右記金融機関窓口指定振込用紙使用



～募金箱管理者様へ～

近年、「募金」「義援金」等を目的とする寄付金の一部の取扱いにおきましても、手数料を徴収する動きがあります。振り込み時に生じる手数料は、管理者様がご負担なきよう箱内のお金から差し引きお手続きいただくことも可能です。

誠に心苦しいところではございますが、これからも子どもたちが安心して過ごせるよう支援継続に努めて参りますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

金融機関名	支店名	口座番号
琉球銀行	県庁出張所	(普)65052
沖縄銀行	県庁出張所	(普)890433
沖縄海邦銀行	県庁内出張所	(普)4689

※その他の振込先は当会HPをご覧ください

口座名義人：公益財団法人 沖縄県交通遺児育成会